

基礎データ	人口	8,380万人(2022年)
	名目GDP	4兆825億米ドル(2022年)
	1人当たりGDP	48,718米ドル(2022年)
	名目GDP成長率	1.8%(2022年)

日本との関係	日系企業数	1,918社(2022年)
	在留邦人数	42,079人(2023年)
	日本食レストラン数	1,220店(2023年)

## 1

## 市場の特性と消費の動向

## 日本食品の市場は継続的に拡大

## A 市場の特性

ドイツはコメを生産していないため、その消費は完全に輸入に依存しています。EU内で最も人口が多い国ですが、コメの輸入量ではフランス、オランダに次ぐ3位となっています。これらの輸入米の大部分はタイ、インドやベトナムからの長粒種です。

2021年の家計支出における飲食費の割合は15.3%と比較的小さいですが、多くの消費者は食品の価格に非常に敏感です。他方で、富裕層が多く存在し、高級品を求めたり、高価な食品に対して高い価格を支払うことを躊躇しない人々もいます。

食の多様化により、伝統的な食品(主に肉とジャガイモ)の消費が減少していますが、外食への支出は増加傾向にあります。一般的な小売店で販売されている日本産食品はまだ限られており、価格も日本での小売価格の何倍に上るため、需要は限定的です。

ドイツの消費者、特に若者は価格に敏感な一方で、健康や環境に配慮する傾向が強いです。これが、オーガニック、ベジタリアン、ヴィーガン、グルテンフリー等の食品に対する全般的な需要の高まりを支えています。また、グルテンフリーで健康的な食材としてのコメや米粉等のコメ加工品に対する関心が高まっています。

## B 消費の動向

ドイツではコメは主食として一般的ではなく、その食べ方や調理法も広く知られていませんでした。しかし、ここ10年程で日本食、特に寿司が人気となり、日本食レストランの数は2023年には1,220店となりました。さらに、2010年以降には、大都市を中心ににおにぎり専門店が登場したり、現地系の大手スーパー(例: Rewe)でも寿司やおにぎりが店頭で並ぶようになっています。

表-1 コメの生産・消費・輸出入の状況

暦年	2021	2022	2023
生産量(千トン)	0	0	0
消費量(千トン)	359	377	346
輸出量(千トン)	50	45	48
輸入量(千トン)	409	422	394

(出典)EUROSTAT及びITC(消費量=輸入-輸出) 2024年1月時点

表-2 日本からのコメの輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	185	239	582
輸出単価(円/kg)	369	338	319

表-3 日本からの米菓の輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	9	6	5
輸出単価(円/kg)	1,729	1,965	1,394

表-4 日本からの包装米飯等の輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	2	4	1
輸出単価(円/kg)	1,737	773	2,164

表-5 日本からの米粉の輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	6	42	14
輸出単価(円/kg)	443	378	318

(出典)財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く) 2024年1月30日時点

コメの主な輸入先国・地域

イタリア、オランダ、ベルギー、インド、タイ、パキスタン、スペイン、カンボジア

## 2

### 流通チャネルと取引慣行

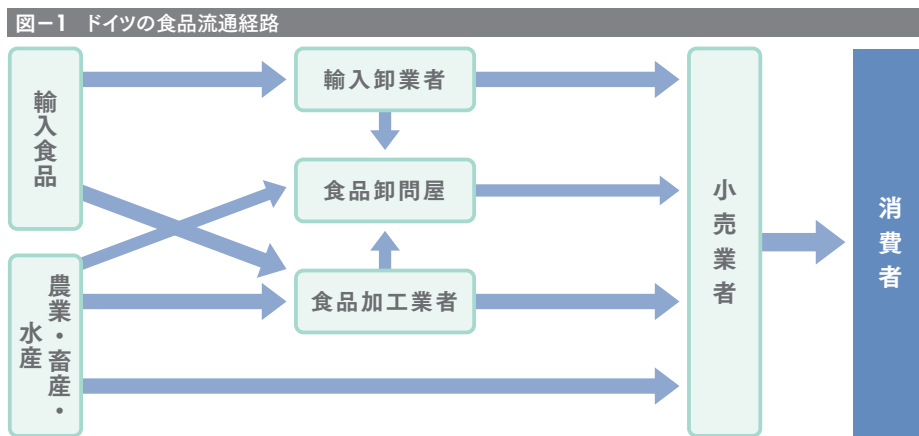
## 輸入食品は輸入卸業者や食品加工業者が小売業者に卸しています

### A 日本産米の流通経路

日本食品の一般的な流通経路は、日本の輸出商社から輸入業者を経由して現地の日系・アジア系レストランや小売店に卸される形態です。

一方で、ドイツの現地系大手小売業者が日本から直接的に食品を輸入することはほとんどありません。小売市場は非常に競争が激しく、また低価格に重点が置かれており、食品調査会社のGreen Seed社によれば、大手小売業者である4社 (Edeka、Rewe、Schwarz、Aldi) が2021年に食品総売上の約85%を占めています。このような大手小売業者は、直接輸入するよりも、主に共同購買組織／流通業者から必要なものを調達する傾向があります。

なお、インタビューによれば、各段階におけるそれぞれのマージン(利益幅)は輸入業者、卸業者、小売業者いずれも約10～25%となっています。



(出典)日本貿易振興機構(JETRO)「ドイツ日本食品消費動向調査」(2015年3月)

### B 取引慣行

一般的に日本食材の小売業者の流通ルートは、①日系スーパーマーケット、②アジア系スーパーマーケット、③現地系スーパーマーケットの3種類があります。輸入食材については、輸入商社、卸問屋が扱いますが、現地大手小売で、加工が必要な食品については、域内加工業者等から直接購買する場合があります。

現地系スーパーマーケットにおいて日本産食材の取扱量は少なく、EU域内生産品や有機食品を中心に扱われています。

## 3

### 関税割当枠と関税

## EUの関税体系を適用

#### ■ 関税割当枠

玄米または精米を1トンを超えて輸入する輸入事業者は、事前に輸入ライセンスを取得する必要があります。また、輸入関税がゼロもしくは減額される輸入割当枠がありますが、この割当枠を利用する場合、輸入量にかかわらず、輸入割当ライセンスの取得が必要です。

精米は、米国、タイ、オーストラリア以外の全ての国の合計で年間1,805トンのEUとしての輸入関税割当が設けられ、関税率がゼロに設定されています。また、玄米は従価税が15%に固定される割当額が合計で年間1,634トンです。なお、日本産玄米の場合、通常は価格単価が高いため、関税割当を用いた場合の関税率よりも通常の関税率の方が低くなる場合があります。

## 関税

EUは域外共通関税制度の下で、域外からの輸入品の関税率は域内各国で一律となっています。

なお、2019年2月に発効した日EU経済連携協定(EPA)において、コメは関税削減・撤廃の対象外ですが、米菓については関税が即時撤廃されました。

玄米(HSコード1006.20.92)……………42.5ユーロ/トン

精米(HSコード1006.30.42)……………175ユーロ/トン

包装米飯(HSコード1904.90.10)…8.3%+46ユーロ/100キロ

米菓(HSコード1905.90)……………含有成分により異なる(日EU・EPAにより無税)

米粉(HSコード1102.90.50)……………138ユーロ/トン

# 4

## 検疫制度と食品規制

### EU規則に基づき規制

#### A 検疫制度

日本からEUにコメ、米粉、米菓及び包装米飯を輸出する場合、特別な検疫上の措置は求められません。植物検疫証明書の取得も不要です。ただし、栽培用のコメについては植物検疫証明書が必要となります。

#### B 食品規制

##### 製品表示の内容

当該製品の販売国における公用語の使用が必須です。EUの公用語であれば複数の記載が可能です。

- a. 食品名
- b. 原材料リスト(米菓及び包装米飯の場合。食品添加物については『用途+化学物質名またはEナンバー』で示す必要)
- c. アレルギー誘発物質(❖1)
- d. 特定成分の分量や使用割合(❖2)
- e. 正味量
- f. 賞味期限・消費期限
- g. 特別な保管条件や使用条件(ある場合)
- h. 輸入業者の名称・住所
- i. 原産国(❖3)
- j. 使用方法(説明が必要な場合)
- k. 実際のアルコール度数(飲料で1.2%以上の場合)
- l. 栄養表示(❖4 米菓及び包装米飯の場合)
- m. 製造ロット番号

❖1…グルテンを含む穀物、甲殻類、卵、魚、ピーナッツ、大豆、乳(ラクトース含む)、ナッツ類、セロリ、辛子、ゴマ、10mg/(Lあるいはkg)の二酸化硫黄または亜硫酸塩、ルピナス、軟体動物を含む場合。原材料リストの強調表示により表記可能。

❖2…商品名に含まれる原材料(Rice CrackerのRiceなど)やラベル表示で強調されている原材料が該当する。

❖3…最終製品の原産地と主原料の原産地が異なる場合に表示する必要。

❖4…エネルギー(kcalとKJの両方)、脂肪、飽和脂肪酸、炭水化物、糖類、タンパク質、塩分について100gあるいは100ml当たりで表記。

## ■ 重金属・汚染物質

欧州委員会規則 (EC) 1881/2006により食品カテゴリー毎に汚染物質の上限値が規定されています。コメではアフラトキシン、オクサトキシンA、カドミウム、メラミン、無機ヒ素の残留濃度の上限値が規定されています。

## ■ 残留農薬基準

ポジティブリスト制となっており、欧州議会・理事会規則 (EC) No 396/2005によって食品の種類ごとに規定されています。全ての食品に対する残留農薬基準値は、「EU農薬データベース (EU Pesticides database)」で検索が可能です。

## ■ 東京電力福島第一原子力発電所事故に関連した輸入規制

2023年7月13日、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う日本産食品の輸入規制は撤廃されました。

# 5

## 小売店の店頭価格

## 日本産米の競合はイタリア産及びスペイン産

### A コメの販売価格

アジア系などのコメを主食とする消費者向けに5kgや10kgの容量の大きい商品も販売されていますが、通常は1kg程度の商品が一般的です。南欧のコメ生産国における不作により、日本産米の価格は、欧州産のジャポニカ米と価格帯が近くなっています。しかし、この状態が続くかどうかは欧州でのコメの生産状況と為替レートの動向に左右されます。

### B 包装米飯の販売価格

包装米飯は主に日本の食料品店で売られており、1個入りか3個入りのパックで陳列されています。日本産米の他に、韓国産米もあり、韓国産の方がやや安価です。

### C 米菓の販売価格

ドイツで販売されている日本産の米菓の品揃えは限られています。他国の米菓に比べて価格が高いことや、製造時の賞味期限が1年という要望、EUの複雑な表示要件などが課題となっています。また、食品添加物に対する規制の厳しさや基準の頻繁な変更も障壁となっています。他方、ドイツではグルテンフリー、ヴィーガン、ベジタリアン向けの商品に対する需要が高まっており、今後はコメ加工品の需要が増加すると見込まれています。

表-6 コメの販売価格 (調査月: 2023年7月)

商品名	原産国 (産地)	販売単位	価格 (ユーロ)	販売単位での円換算*
Marufuji Niigata Koshiibuki	日本	10kg	58.9	9,365
Yamagata Haenuki	日本	5kg	31.4	4,993
Takomai Koshihikari	日本	5kg	45.9	7,298
Ibaraki Koshihikari	日本	2kg	16.0	2,544
Yumenishiki Original Japanese Variety	イタリア	5kg	29.6	4,706
Minori	スペイン	5 kg	26.7	4,245

表-7 包装米飯の販売価格 (調査月: 2023年8月)

商品名	原産国 (産地)	販売単位	価格 (ユーロ)	円換算*
Wooke Funwari Gohan	日本	200g	2.8	445
CJ Hetban Cooked White Rice	韓国	210g	2.0	318

表-8 米菓の販売価格 (調査月: 2023年8月)

商品名	原産国 (産地)	販売単位	価格 (ユーロ)	円換算*
Kameda Soft Salad	日本	139.6g	4.7	747
Sanko Marudaizu Sembei	日本	118g	4.2	668
Bin Bin Rice Crackers Original	タイ	150g	2.5	398
Kameda Kameda Kakinotane	タイ	180g	5.5	875

\* 1ユーロ=159円換算

## 6

## インターネット販売の実態

## ドイツのECはコロナ禍で大きく進展

ドイツ小売業連盟(HDE)によれば、2022年のドイツにおけるBtoCオンライン取引額は845億ユーロに達し、これは2021年のコロナ禍の最高額から2.5%減少しています。とはいえ、2019年と比較してみると、42.9%もの増加を記録し、オンライン取引が著しい成長を遂げています。さらに、食品のオンライン売上高も8%増加しました。コロナ禍の中で、GorillasやFlinkなどのオンライン食料品配達プラットフォームが台頭しました。

## 【日本産米や日本食品を販売している主なドイツのEC サイト】

主要ECサイト	a. 大洋食品	(Dae Yang)	<a href="https://www.dae-yang.de/">https://www.dae-yang.de/</a>
	b. 松竹	(Shochiku)	<a href="https://japanfoodexpress-shochiku.de/">https://japanfoodexpress-shochiku.de/</a>
	c. 旨来屋	(Umakiya)	<a href="https://www.umakiya.com/">https://www.umakiya.com/</a>

## 7

## 輸出拡大に向けて

ドイツはこれまで日本産コメ・コメ加工品があまり浸透していないと見られていたマーケットですが、日本食レストランの増加等に伴い輸出が拡大しています。現在、日本産コメ・コメ加工品はEU産のコメに対しても価格競争力もあり、輸出を拡大する好機と言えます。販路のさらなる拡大に取り組むと共に、現地のニーズをより細かく分析し、需要に応える商品を提案することが重要です。